

ひしんち

議会だより

2021・10・20
No. 171



元気いっぱい運動会

各保育所で運動会が開催され、
園児たちは元気いっぱい駆けまわり
思い出に残る素敵な運動会となりました

〈9月定例会〉

- 定例議会の概要 …… 2～7
- 町政を問う …… 8～13
- 常任委員会レポート …… 14～15
- ようこそ新地町へ …… 16



9月
定例会

9月定例会の
あらまし

令和3年9月定例会は、9月3日から16日までの14日間の会期で開催され、教育委員会委員の任命、条例制定や災害復旧工事請負契約、一般会計・特別会計補正予算、令和2年度の各会計認定など25議案を審査、原案のとおり可決した。また、14日と15日には5名の議員が一般質問を行った。

決算審査特別委員会を設置 特別会計含む全7案件 原案どおり認定



▲決算審査特別委員会

定例議会初日に、決算審査特別委員会を設置し、委員長に三宅信幸議員、副委員長に吉田博議員を選任。特別会計を含む7会計を審査し、全て認定すべきとした。決算審査は、全体方式で行い、各課ごと町長・副町長出席のもと決算書、主要な成果説明書などの説明を受け、各課事業、財政など町政全般にわたり質疑・審査を行った。

令和2年度一般会計決算

財源の確保と効率的で

迅速な事業執行を

一般会計審査意見

○歳入について
歳入決算額は93億1382万円で新型コロナウイルス感染症対応等で前年度比9億9574万円の増となっている。町税は、固定資産税の増加などにより、前年度比684万円の増となった。引き続き、課税客体の把握と財源の確保に努められたい。

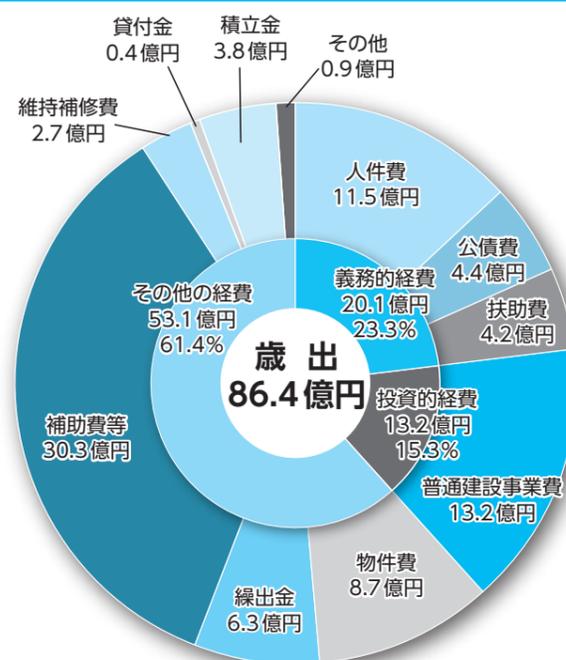
○歳出について

令和2年度の歳出決算額は、86億4940万円で、前年度より8億2257万円の増となった。繰越明許費を含む繰越額は6億6444万円となった。主な内容は、新型コロナウイルス感染症対策事業費に9億3957万円、元金償還金が増加したことによる公債費が4億4313万円になったことである。効率的で迅速な事業執行に努力されたい。左記の意見を付して認定した。

- ・新型コロナウイルス感染症対策はより一層万全な対応を図られたい。
- ・職員の健康管理と適正な人的配置に努められたい。
- ・新地駅周辺事業の課題解決に全力を注がれたい。
- ・子育て支援の充実と共に、福祉施策の展開に万全を期されたい。
- ・農林水産業の再生と振興を図るため、関係団体と密に連携し、新規就農者の確保や有害鳥獣被害対策等に万全を期されたい。
- ・不登校などの教育課題解決のため、人事配置の充実や、教育施設整備を計画的に進められたい。

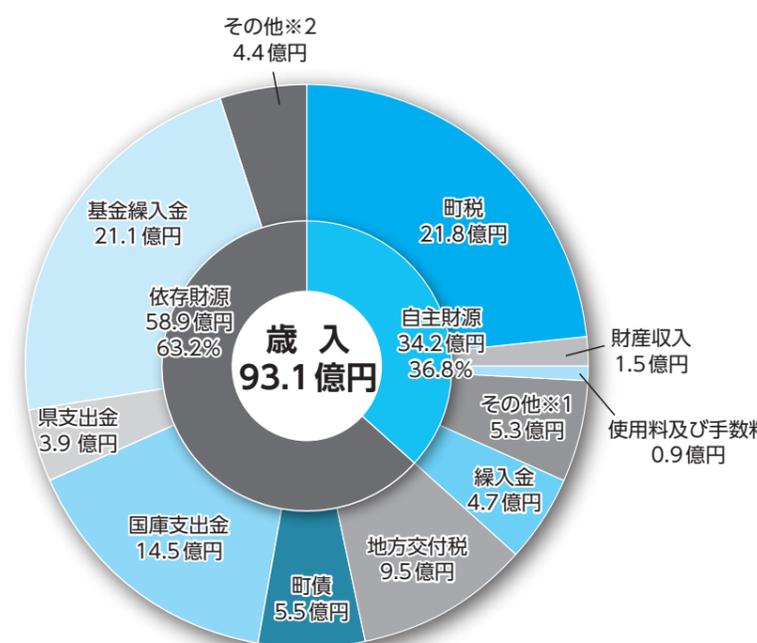
◆用語解説

- 【義務的経費】支出が義務づけられ、任意に削減できない経費
- 【投資的経費】施設など、財産として将来に残るものにかかる経費
- 【普通建設事業費】公共施設や道路などを整備するための経費
- 【物件費】光熱水費、各委託料、備品購入費などの経費
- 【補助費等】個人や任意組織に対する補助金などの経費
- 【繰出金】一般会計から各特別会計に支出する経費
- 【積立金】財政調整基金や各種特定目的基金に積立するための経費



◆用語解説

- 【自主財源】町が自主的に収入する財源
- 【依存財源】国や県から定められた額を収入する財源
- 【町税】町民税(個人・法人)、固定資産税(土地・家屋・償却資産)、軽自動車税などのお金
- 【地方交付税】町の財政力に応じて国から交付されるお金
- 【国・県支出金】事業の財源として使い道が決められた国や県から交付されるお金
- 【町債】公共工事などを行うため国および金融機関から借入るお金
- 【その他※1】寄付金や繰越金など
- 【その他※2】地方譲与税や各種交付金など



決算審査 こんな質問が Q & A

防災備蓄品は、どこに保管しているか。

A 10年前は、役場に保管していたが津波ですべて流された。現在は、防災センター、役場、各小中学校に備蓄している。今後は、各公民館に置くことも検討中である。

Q 昨年度、保育士の採用がされていないが、今後の対応は。

A 会計年度職員で対応している。今後については計画的に募集していく。

Q 人事評価制度の取り組みは。

A 自己評価、上司評価に加え総務課長も評価している。評価基準を統一するため、研修も行って入札不調の要因と対策は。

Q 避難地域から新地町に住所を移した人数は。

A 令和3年4月1日現在、福島県に登録している人数は75世帯、193名である。

Q 2年度は保育所の待機児童は何人いたのか。

A たんぼぼ広場は、6月から再開したが、密を避けるため、参加できる親子の組数を制限し、また、検温、手指の消毒、人と人との間隔を広く取るなどしながら実施している。

あると聞くと、対応はどうしているのか。
A 4月1日時点で待機児童数は発生しておりません。
また、入所先が2か所に跨っての預け入れなど、保護者の皆様にご苦労をかけていると思っています。今後、保育士の確保をすることが必要であり、継続して保育士の募集を行っていく。



▲たんぼぼ広場での親子体操

Q 児童館では、たんぼぼ広場なども実施しているが、密にならない新型コロナウイルス感染症対策は。

A 薪風呂等の灰の回収件数は、100件程度である。灰の処理については、数値の測定を行い数値が低いことを確認した上で、光陽クリーンセンターでもう一度焼却処理をしている。

Q しんちゃんGOの運行、1日平均66.6人、車両数4台に2434万の補助金を支給しているが、今後の課題と取り組みは。

A しんちゃんGOの見直しについて、企画振興課内では、タクシー補助による移動の確保などを検討している。実施時期は未定。
Q 子どもへのフッ化物洗口の回数とその後の効果について
A 保育所年長児には週2回、小学生には週1回実施した。効果の確認については3～5年位かかる。
Q 国民健康保険税の収納率が低いのではないかと
A 新型コロナウイルスの影響と、2月の地震による災害対応で個別訪問による納税相談が行えなかった。
Q 耕作放棄地の現状は。
A 約30軒あり、年々畑が多くなる傾向にある。
Q 災害公営住宅払い下げの状況は。
A 15件あった。1件あたり平均約180万円の補助金を出している。

議案

条例

福島復興再生特別措置法に基づく特定事業活動における固定資産税の課税免除に関する条例の制定

福島復興再生特別措置法及び福島復興再生特別措置法第26条等の地方税の課税免除、又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の改正に伴い、風評被害に対応するための特定事業活動の指定を受けて施設等を新設又は増設した事業者に対して課する固定資産税の課税免除の措置を講ずるため、新たに条例を制定するもの
(全員賛成で可決)

福島復興再生特別措置法に基づく新産業創出等推進事業における固定資産税の課税免除に関する条例の制定

福島復興再生特別措置法、及び福島復興再生特別措置法第26条等の地方税の課税免除、又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の改正に伴い、福島イノベーション・コースト構想の重点分野に係る、新産業創出等推進事業の認定を受けて施設等を新設又は増設した事業者に対して課する固定資産税の課税免除の措置を講ずるため、新たに条例を制定するもの
(全員賛成で可決)

税特別措置条例の一部を改正する条例

地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第26条の地方公共団体等を定める省令の改正に伴い、対象施設の設定期限を設定するた

め、所要の改正を行うもの
(全員賛成で可決)
復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

東日本大震災復興特別区域法、及び東日本大震災復興特別区域法第43条の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の改正に伴い、対象設備に課する固定資産税の課税免除等の適用期限を延長するため、所要の改正を行うもの
(全員賛成で可決)
手数料条例の一部を改正する条例

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律が公布され、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、個人番号カードの再交付手数料に係る手数料の規定を削除するため、所要

契約

特定環境保全公共下水道新地処理区災害復旧工事(1工区)請負契約

2月13日の福島県沖地震により損壊した下水道管渠等の復旧工事を行うため、9月2日に指名競争入札に付した結果、相新建設株式会社、1億2980万円で落札したので議会の議決を求めるもの
(全員賛成で可決)

特定環境保全公共下水道新地処理区災害復旧工事(2工区)請負契約

9月2日に指名競争入札に付した結果、新和工業株式会社、1億8458万円で落札したので議会の議決を求めるもの
(全員賛成で可決)

主な質疑

問 下水道の災害復旧工事が始まると、通学路等の安全確保に十分配慮しなければならぬ。このことについてどのように対応するのか。
また、工期も繰り越しがたいような工程管理をお願いしたい。

答 業者との施行計画を立てていく際、児童・生徒等の通学路、車両等の安全確保には十分配慮し、工程についても年度内完了を目指し日程等協議し、進めていきたい。

令和3年度一般会計

83億3800万円

町道の災害復旧工事に2千万円追加など

正算 補予

令和3年度 一般会計・特別会計補正予算の概要

(単位：千円)

会計別	9月定例会補正後	補正額
一般会計	8,338,000	147,000
特別会計		
国民健康保険	903,957	6,677
介護保険	863,391	32,391
後期高齢者医療	171,788	88
公共下水道事業	888,010	21,600
農業集落排水事業	143,802	81,302
新地南工業団地整備事業	180,085	385
合計	11,489,033	289,443

一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ1億4700万円を増額し、歳入歳出それぞれ83億3800万円とするもの

補正額の主な事業

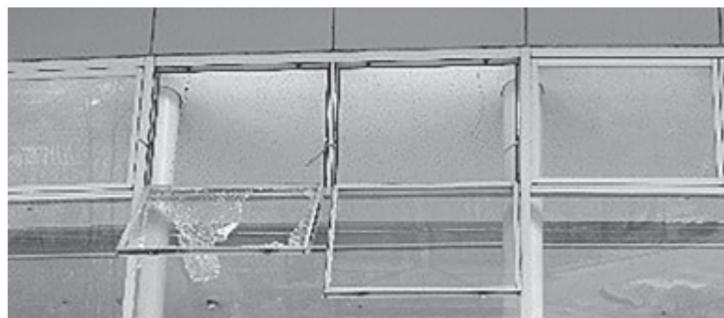
◎歳出補正 (単位：千円)

町道の災害復旧工事	20,000
藤崎第2排水機場の機能保全計画策定業務	10,010
荷捌き施設復旧工事	20,000
公共下水道事業特別会計繰入金	15,170
財政調整期金積立金	30,000
学校施設災害復旧工事管理業務	4,000

陳情・要望等(9月定例会)

議会では、地域住民より直接の声となる、陳情、請願、意見等を受け付けています。今定例会では、下記の陳情を受け付けました。

	件名	提出者	審査結果
陳情	小川田中地区内の農地について	小川田中地区地権者代表 寺島 信夫	継続審査
	辺野古新基地建設中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い憲法に基づき公正かつ民主的に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情	「新しい提案」実行委員会 責任者 安里 長従 全国青年司法書士協議会 会長 阿部 健太郎	議員に印刷して配布
	手話言語条例に関する陳情	霜山 清孝 浜北聴覚障害者会 会長 八巻 稔 浜北聴覚障害者会 新地支部 代表 佐藤 透	継続審査
要望	人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請すること	沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表 具志堅 隆松	議員に印刷して配布



総合体育館排煙窓破損



地割れしたテニスコート

新地町総合公園(総合体育館・テニスコート)災害復旧工事請負契約

9月2日に指名競争入札に付した結果、株式会社小野中村が、6600万円で落札したので議会の議決を求めるもの(全員賛成で可決)

主な質疑

問 総合体育館は、指定避難所となっている。工事期間中に災害が起きた場合どのようにするのか。
回答 工事の内容にもよるが、他にも避難所として確保しているのので、災害の状況や規模に応じて周知していく。

人権擁護委員に

村上勝則さん(再任)



村上 勝則さん

人権擁護委員の村上勝則さんが令和3年12月31日任期満了になることから、引き続き推薦され、全員賛成で再任と認められた。任期は3年間。

教育委員会委員に

小林成子さん(再任)



小林 成子さん

教育委員会委員の任期が令和3年9月30日満了になることから、引き続き任命することに、全会一致で同意した。任期は4年間。

議会を傍聴しませんか

★次回の定例会は、12月初旬開会の予定です。

議会は、所定の用紙に必要事項を記入して頂くことにより、どなたでも自由に傍聴することができます。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。議会事務局(新地町役場3階) ☎62-2190(直通)

一般質問

ただ
ここを質す!

町政を問う

今定例会の一般質問は、9月14日、15日に行つた。議員5名からは12件の通告があり、誘致活動や安心安全な町づくりなどについて質問した。各議員からの質問内容は、左記のとおりです。以下、主な質問と答弁を、登壇した順にお知らせします。

一般質問とは

一般質問は、町の行政全般に関し、執行者所見や疑義について質問できる。質問者は、事前に質問内容を通告する。
なお、当議会では一問一答方式を導入しており、時間内であれば何度でも再質問ができる。質問時間は、質問と答弁を含めて60分としている。

5名の議員が質問

(通告順)

寺島博文議員 P9

- 1 通学路の安全点検について
- 2 スーパーマーケット誘致について
- 3 町民からの意見・要望について

吉田博議員 P10

- 1 公営住宅等の管理・運営体制について
- 2 異常気象の中で防災計画等の見直しの必要性について

寺島浩文議員 P11

- 1 企業誘致促進を
- 2 6次化による農業・漁業の振興策について

八巻秀行議員 P12

- 1 町内土取り場の状況と熱海の土砂流失災害に見る懸念について
- 2 災害に強く安心安全な町づくりについて
- 3 縮小する社会教育の更なる振興充実に向けて

井上和文議員 P13

- 1 新型コロナウイルス対応について
- 2 子どもを育てる環境づくりについて

駒ヶ嶺・新地線町道の歩道整備を

回答 早期に検討していく



寺島博文 議員

問 今年6月、千葉県で下校中の小学生の列に、大型トラックが突っ込み5人が死傷する、大変痛ましい事故があった。駒ヶ嶺・新地線町道は交通量が増えており大変危険な路線である。近隣住民から歩道整備を要望する声がある。通学児童を、交通事故から守る為、早期に歩道整備すべきでないか伺う。

回答 駒ヶ嶺・新地線町道は、現在歩道整備を進めている4路線の一つで、駒ヶ嶺町地区と富倉地区について、早期完成を目指し、事業を進めている。NTT新地交換所から丸三機械までの区間も、大変危険である。早急に歩道整備すべきでないか伺う。

回答 住民からも要望がでている。また、町としても、危険性を認識しているので早期に検討したいと考えている。



▲駒ヶ嶺・新地線町道(小川地区)

公設民営方式を導入すべきでないか

回答 民設民営方式で進める

問 町民アンケート調査で、スーパーマーケットの誘致を望んでいる方が約77%いるという結果が出ている。町の誘致活動の状況と優遇制度について伺う。

回答 町民アンケート調査で、スーパーマーケットの誘致を望んでいる方が約77%いるという結果が出ている。町の誘致活動の状況と優遇制度について伺う。

回答 この2年間で、7事業所と交渉したが出店決定に至っていない。出店検討頂いた事業者によると、商圏人口が少ない事が要因である。

優遇制度については、課税の特例として事業税固定資産税、不動産取得税の、免除制度がある。町独自の優遇制度については、事業用地の一定期間の、無償貸付制度を創設した。

問 公設民営方式を導入し、誘致を加速すべきでないか伺う。

回答 公設民営方式では施設整備費を、行政が負担することになる。町の費用負担を可能な限り抑える為、民設民営方式を進めた。

町長への手紙や意見箱を設置してはどうか

回答 意見箱については今後検討する

町長への手紙や意見箱を設置してはどうか

総合案内窓口を設置すべきだ

回答 状況により、設置を検討

問 災害などの有事の際には、役場庁舎内に「総合案内窓口」を設置し、住民サービスに努めるべきでないか伺う。

回答 支援制度が多岐にわたる場合や、対象となる方が多数想定されるなど、災害の種類や程度によっては「総合案内窓口」を設置する事も、今後検討したい。



吉田 博 議員

町営住宅の管理は

回答 維持管理基金で運営

問 町営住宅の空き室のうち修繕等で使用できない部屋数を伺う。
回答 空き室の状況は全体で51戸そのうちで2月の地震で39戸の被害住宅が発生しており年末までには修繕予定である。

問 老朽化住宅の修繕及び建替え費用等の計画及び準備はあるか。
回答 故障が発生した場合はその都度修理交換等をしており、老朽化住宅の修繕や建て替えは社会動向や需要などを踏まえて実情に合った住宅行政を行っている。

問 住宅周囲に雑草が多くなっており、住環境が悪くなっていると思うが周囲管理についてどのように実施しているのか。
回答 入居者の協力により実施されており、作業に必要な機械類を貸出ししている。更に昨年度より公共施設の草刈り作業等の業務委託を行っており、本年度から委託人員を増やして一

層の環境美化に努めている。
問 これまでの公営住宅は同居人がいる事が基本となっており、3LDK等が主となっていたが、昨今は核家族化によって独居老人や障害者等の住まいを見据えた少数部屋とバリアフリーの部屋が必要ではないか。
回答 現在は特定の方を対象とした住宅を含め、新団地整備計画はない。



▲敷地内の雑草

問 高齢者のみ世帯では自宅の修繕や解体に多額の費用がかかり、更に土地建物を売却しようにも買い手が無いことが多くあり、このような高齢者世帯の入居資格について柔軟な対応をすべきでないか。
回答 高齢者の入居特例をすべきとの事ですが、自然災害による家屋滅失などで入室できませんが、それ以外の家屋の状況については、随時受けており、高齢者に限らず入居者選考委員会の意見を聞きながら対応していく。

異常気象下での 防災計画見直しを

回答 現在改訂作業に取り組み中

問 世界的な異常気象で全国的に大災害が発生している。平成26年改訂した地域防災計画の改訂を急ぐべきではないか。
回答 7月の新地町防災

会議に提案し具体的な改訂



▲浸水防止の土嚢

議論を始めており早期策定に努める。
問 今の地域防災計画は津波による避難誘導に重点をおいているようだが、線状降水帯など内陸の現象に沿った計画とすべきでないか。
回答 今回の改正では線状降水帯などを考慮した「風水害対策計画」を新設し具体的な水防対策や土砂災害対策などを明記してより風水害への対策を充実させた計画とする予定である。

6次化による特産品開発を

回答 起業者の発掘や支援を進める

問 現在町には特産品と呼べるものが少なく、日本酒の「鹿狼山」くらいしかすぐには頭に思い浮かばない。今後は「ふるさと納税」の返礼品に力を入れていくためにも、6次化を推進し特産品開発に取り組むべきではないか。
回答 今年度に入り、水産物を利用した商品の開発について、町内の団体から相談があり、県の「地域産業6次化サポートセンター」と連携しながら、新商品開発に必要な施策やパッケージデザイン、食品表示などの専門家による指導が受けられる、ソフト事業などの支援を行っている。今後も新たな商品開発や宣伝方法の検討、新たな起業者の発掘や支援を進める。

問 その水産物を利用した6次化に取り組んでいる団体からは、加工施設の整備や販路の確保などの課題があると聞いている。町としても町営施設の貸し出し

や、施設での販売などの支援は出来ないのか。
回答 こちらの団体は防災緑地公園で、潮風フェスティバルと言うイベントを毎月行っている。町ではそういった場所を提供し、商品を販売する事により、少しずつ商品を知っていたり、くようにするなどの支援を、継続して行いたい。

企業誘致促進を

回答 県や町独自の優遇制度をPR

問 スーパーマーケット誘致の現状と課題は。
回答 現在誘致決定には至っていない。商圏人口が小さいと言う事が課題と考

えている。今後は県や町独自の優遇制度をPRしながら誘致活動を進めて行く。
問 新地駅東口事業用地への企業誘致は、新地スマートエナジー(株)の経営にも大きく関わって来る。現状と課題はどの様になって

いるのか。
回答 主にスマートアグリ事業の誘致を目指し、誘致活動を進めている。今後は県の復興特区制度や、町独自の優遇制度をPRしながら、新地スマートエナジー(株)の出資企業や、福島イノベーションコースト構想推進機構の、企業誘致担当部署と連携し、誘致を目指す。

問 駒ヶ嶺工業用地(旧駒ヶ嶺小学校跡地)への誘致の現状と課題は。
回答 新地ICや相馬港へのアクセスの良さや、税制上の特例をPRしながら誘致活動を進めている。また福島イノベーションコースト構想機構の協力を得て、ドローンを使った空撮動画を撮影し、動画配信サイト「ユーチューブ」で配信している。また浜通りの工業用地を見学して回る、企業向けのツアーを企画するなど、企業誘致に協力をお願いしている。引き続き福島イノベーションコースト

構想機構の企業誘致担当者と連携し、誘致活動を進める。
問 新地ICや相馬港へのアクセスが良いと言う事だが、6号バイパスや旧6号線からのアクセスが悪いと言う課題がある。検討すべきではないか。
回答 意見を参考にし、検討する。



▲企業立地が急がれる新地駅東口の事業用地



寺島浩文 議員

その水産物を利用した6次化に取り組んでいる団体からは、加工施設の整備や販路の確保などの課題があると聞いている。町としても町営施設の貸し出し

その水産物を利用した6次化に取り組んでいる団体からは、加工施設の整備や販路の確保などの課題があると聞いている。町としても町営施設の貸し出し

その水産物を利用した6次化に取り組んでいる団体からは、加工施設の整備や販路の確保などの課題があると聞いている。町としても町営施設の貸し出し

その水産物を利用した6次化に取り組んでいる団体からは、加工施設の整備や販路の確保などの課題があると聞いている。町としても町営施設の貸し出し



八巻秀行 議員

町内土取り場災害を懸念

回答 パトロールで未然防止に努力

問 町内土取り場は、上真弓(字水神)0.9畝、大山田(字大山田)8.9畝、鉄炮町0.9畝、菅谷(上耕土)0.9畝など6か所約11.6畝である。全て切り土であるが、付近には人家もあり災害の心配をする。熱海の土砂流出災害の様な心配はないか。又、土取り場の大山田(字大山田)では令和6年3月12日まで許可が出ているので、新たな土取り場を作らない自然環境保全と景観形成に努力をすべきである。

回答 山林から土砂を取る場合伐採届、林地開発許可、採石法の3つがあり許可にあたっては、県から町に意見が求められ関係課の意見を付して県に回答している。今後も現地パトロールを行うなど現地の状況を確認し土砂災害の未然防止に努める。

問 区域から土砂流出がないよう沈砂池、水路の堆積土の撤去等充分な対策管理を行うというが心配ないか。

か再度伺う。
回答 災害の未然防止の観点から法面の勾配や高さなど安定対策を指導している。



▲大山田土取り場

社会教育、生涯学習の振興を

回答 課題共有し、組織を強化

問 スポ少野球部に見る社会教育の更なる振興充実について伺う。これまで永く柔道、剣道、空手、野球、バレーボール、バスケット、サッカーの7種目に野球部

は3団体、バレーボールは2団体の11チームに団員数180人位で推移してきたが、現在新地ファイターズはなくなり、7種目10チームとなっている。少子化で子供たちも少なくなっていると思うがスポ少は縮小するばかりである。野球、バレーボールスポ少の存続は各小学校のみでは成立できない。更なる充実と努力をすべきである。

回答 スポ少は、スポーツによる青少年の健全育成を目的として子どもたちの健やかな心身の成長に寄与すると共に、集団による社会活動を通じて協調性や創造性を養い社会のルールや思いやりの心を学ぶことができる場の役割を担っている。現在、新地ファイターズ団員数がゼロとなり存続の危機となっている。

また、スポ少全体の団員数も年々減少傾向にあるが、町スポ少の加入率は県内でも高い水準にあり各単位団が工夫して取り組んで

いる結果だ。今後は課題を共有し、協議を行い更なる組織の強化を図れるよう働きかける。
問 人づくりのための社会教育の振興、生涯学習の大切さを申し上げたい。町づくりは人づくりからと言われるが、全く野放しの社会教育ではないか。更に力を入れるべきではないか。

回答 スポ少は1962年に日本体育協会が母体で組織された。今後も補助金、激励金で支援サポートして行く。



▲スポ少野球部

コロナから子供を守れ

回答 感染予防に万全を尽くす



井上和文 議員

問 新型コロナウイルス感染症の第5波は、1年半にも及ぶコロナ禍の中でもない感染拡大になっている。8月後半の全国の新規感染者数は、連日2万人を超え重傷者、自宅療養者は過去最多を更新、災害レベルの事態だ。その後、若干沈静化しているが、福島県では、陽性者が、9000人を超え、相馬市87人(9/6)南相馬市272人(9/10)山元町40人、丸森町42人と新地周辺の感染者も増えており、特に10代や10歳未満の感染者もあり、家庭内感染が増えているようだ。子供、児童の感染防止に万全を尽くすべきだ。



外活動にバランスよく分け感染症予防に努めている。

学校では、町内全ての学校にアルコール消毒、自動検温器、オゾン発生装置、空気清浄機、ペダル式蓋付きごみ箱設置などや、スクールサポータースタッフ1名を配置し校舎内外の施設整備の消毒を徹底して実施している。夏休みが明け、変異株が原因でワクチン接種の対象となっていない小学生以下の感染増加や学校でのクラスター発生、子供からの家庭内感染が懸念され今以上に学校での感染対策が重要になってくる。今後も、家庭と協力し

ながら基本的な感染対策をより徹底して児童生徒の感染防止に万全を期していく。
問 千葉県では、コロナで陽性になった妊婦が病院で受け入れられず自宅出産し、その子供が亡くなるという胸が痛むような事件が発生した。新地町では昨年度49人、今年9月10日現在で21人の母子手帳が交付されている。相馬の産婦人科が診療休止し、今お産ができるのは、南相馬、いわき、福島、あとは県外だ。コロナ禍の中で、妊婦の方々は不安がいっぱいだと思う。町としての確かな情報の提供や万全の対応が求められる。

回答 厚生労働省では「妊娠中に新型コロナウイルスに感染すると特に妊娠後期は重症化しやすく、早産のリスクも高まる。」とされており日本でも承認されているコロナワクチンも妊娠、胎児、母乳、生殖器に影響があるという報告はない。県では、患者受け入れ病床を拡充している結果だ。今後は課題を共有し、協議を行い更なる組織の強化を図れるよう働きかける。
問 人づくりのための社会教育の振興、生涯学習の大切さを申し上げたい。町づくりは人づくりからと言われるが、全く野放しの社会教育ではないか。更に力を入れるべきではないか。
回答 スポ少は1962年に日本体育協会が母体で組織された。今後も補助金、激励金で支援サポートして行く。
問 コロナ災害時にふさわしい柔軟な教育の保障とコロナについての学び、コミュニケーションの重視を図るべきだ。
回答 学校で感染者が発生した場合は欠席扱いとはしない出席停止措置や学級、学年、学校単位での臨時休校措置を行いオンライン授業などで学びを保障する。
問 不織布マスクの配布は、年齢や数も含め検討させてほしい。
回答 タブレットでのいじめがないような仕組みになっているが、情報モラルを徹底したい。
問 抗原検査キットが国から届くが課題を確認しながら進める。誹謗中傷防止の啓発も家庭、地域一体となって進めていく。

委員会 レポート

総務文教常任委員会 地震被害施設の早期復旧を

7月8日、地震被害施設の現地調査を行った

町内学校施設は、国の災害復旧査定を経て工事着手となるが、1日でも早く安全な環境整備を行うべく、国に対して事前着工の手続きを行い、夏休み中に工事着工を目指している。公民館、総合体育館も事前着工の申請手続中であるが、早期完成を図るため6

月議会で1億1千8百万円を計上した。

図書館及び農村環境改善センターは、コロナワクチン接種会場としての認定により災害補助の対象になった。

震災復旧は、原形復旧が基本であるが、費用対効果、施設の延命化を図るためには町の単費投入を含めた審査も考慮すべきである。

◎地震被害現地調査対象施設について

施設名	破損箇所	工期予定
図書館	二階窓ガラス他 5件	令和3年6月1日～10月29日
福田小学校	校舎玄関クラック他 9件	令和3年7月下旬～令和4年1月下旬
新地小学校	校舎東外構沈下他 2件	校舎→令和3年7月下旬～令和4年1月末 体育館→令和3年9月～令和4年2月末
駒ヶ嶺小学校	校舎東外構沈下他 2件	令和3年7月下旬～令和4年1月末
尚英中学校	給食室ボイラー破損他 11件	令和3年7月～令和4年1月末
新地町総合体育館	アリーナ天井材落下破損他 12件	令和3年7月下旬～令和4年3月末
町民野球場	スタンド外周アスファルト舗装クラック他 5件	令和3年7月下旬～令和3年11月末
テニスコート	テニスコート内人工芝たわみ及び下地アスファルトクラック	令和3年7月下旬～10月末
農村環境改善センター	敷地東側擁壁破損他 6件	令和3年9月末～令和4年3月末
駒ヶ嶺公民館	敷地西側給水管周辺破損他 2件	令和3年7月下旬～10月末
勤労青少年ホーム	入口アスファルト舗装陥没他 5件	令和3年7月下旬～10月末
町民柔剣道場	玄関先礎破損 5件	令和3年7月下旬～10月末
新地町勤労者体育センター	プール内クラック他 4件	令和3年9月～令和4年1月末



▲新地小体育館を視察

8月11日、イベント開催時の避難行動計画について調査した

町が所有する施設を用いてイベントを開催する場合、有事に対して観客を安全に避難誘導を行うための計画書の提出を求め、避難計画の有無について確認するような形をとっている。管理する施設が複数の担当課に分かれていることで、避難行動計画が統一されておらず、主催者は、必ずし

安心・安全な 管理・運営を

も防火管理の有資格者ではないことから、全庁的に安心・安全なイベントの管理・運営を見直す必要があると思われる。

防災緑地公園のある沿岸部には、海水浴場やオートキャンプ場、パンプロラック場など日常的に人が集まる場所であるため、総合案内や、防災サインなど整備しているが、その他、施設管理者が定期的な防災広報も必要である。

今般の地震被害で指定避難所が使用できないところがあり、町は、代替避難所として、地区の公会堂や学校の特別教室、ホテル等、その時々で安全であると想定してあるところを準備しているとのことである。また、防災無線で繰り返し丁寧な周知をしていくことが必要である。

産業厚生常任委員会 防災集団移転地移転元地の賃貸と河川復旧工事を早急に

7月20日、防災集団移転元地の状況と河川復旧工事の進捗及び課題について審査及び現地調査を行った

河川災害復旧工事の状況について、県管理の三滝川福田字若松、立田川駒ヶ嶺字山神の2カ所について説明を受け、河川については全体で20カ所うち5カ所施工中、砂防は全体で3カ所うち2カ所となっており、早い復旧工事に努力を要望した。

また、防災集団移転元地の契約状況は磯山地区から今泉地区まで、8地区42万8094平方メートルで98.3割、未契約は保有意思8件、



▲三滝川復旧工事

相続問題2件で7237平方メートルで1.7割となっている。防災集団移転元地の貸借を早期に行い、これまで行ってきたサイジング調査を活用して欲しい。また、現地は、かなりの高低差があるため建設残土の盛り土を大切にして更に利用価値の高い用地にされたい。

8月20日、公営住宅、下水道震災被害状況と課題について審査及び現地調査を行った

令和3年2月13日の震災の被害状況は、公営住宅については301戸中214戸で被害が確認され、愛宕町営住宅では法面と擁壁の破損も各1箇所確認された。公営住宅被害の概要は、ほとんどがクロスクラック

クや瓦の破損である。法面と擁壁は大きなクラックが入っており、危険度が高く、2世帯が引越を余儀なくされた。

下水道の被害状況は管渠の損傷がひどく、被害延長は4389mに及ぶ。被害の概要としては管渠のたるみ、ずれ、変形が確認されている。

復旧事業の課題としては、発災から災害査定を受けるまでの調査や設計図書作成に時間がかかり、工事



▲下水道被害状況調査

発注まで半年以上かかっている。災害復旧を早めるためには、災害査定を早く受けられるように、技術職員を増員し、災害時の現地調査・設計図書作成までのマニュアルを、しっかり構築しておく必要がある。また、国の災害査定を待たずに、被災直後から応急復旧工事については、どこを最優先に応急工事を行うかなどのマニュアルも整備された。

技術職員を増員し、 早急な対応を

ようこそ新地町へ

ますます魅力的な町に

富倉地区にお住まいの佐藤光廣さんに、新地町の印象や、望むことなど、お話を伺いました。

新地町に居住したきっかけ

前職は転勤が多く、子どもの育児環境を考え、転職を決意。縁があつて新地町の会社に勤めることになり、最初は駒ヶ嶺にあるアパートを借りて住んでいましたが、生活をしていく中で新地町に定住することを決め、同じ駒ヶ嶺地区内に家を建てました。

町の印象は

海水浴場に鹿狼山。更にここ数年でオートキャンプ場やパンプトラック、海釣り公園やフットサル場も整備され、多くのレジャーを楽しめる魅力的な町だと感じています。

また、近隣の方にも、時



町に望むこと

には野菜を頂いたり、時には家に招かれ、お酒をごちそうになったりなど、最初の土地探しの段階から現在に至るまで、大変親切にしていた頂き、新地町を選んで本当に良かったと思っています。

区間もあることに加えて、時間帯によっては結構な交通量があるため、心配になることがあります。

また、夜になると自転車のライトだけを頼りに、真っ暗な道を帰宅する中学生を多々見かけます。子どもたちの安全の為に、歩道や街路灯などの整備を是非、検討していただければと思います。

編集後記

9月27日現在、町内の新型コロナウイルスワクチン接種者は、約86%との報告がありました。接種を希望されない方等の誹謗中傷や偏見のないようにしたいものです。

先日、議会広報の『ようこそ新地町へ』の記事が楽しみですという投稿がありました。編集者にとっては嬉しい限りです。新地町へ移住者の皆さん、次はお宅へお伺いいたします。ご協力をお願いいたします。

中秋の名月からひと月過ぎました。澄み切った夜空を眺めながら、わが町の未来への語らいをしてみては如何でしょうか。議会広報掲載のご協力、ご拝読いただきました皆様に感謝申し上げます。

(吉田 博)

編集委員

- 委員長 藤田 修
- 副委員長 水戸 洋一
- 委員 吉田 博
- 委員 齋藤 充明
- 委員 寺島 博文



プロフィール

佐藤 光廣さん (富倉地区)

秋田県美郷町出身。
妻と子ども一人の三人暮らし